

公益社団法人計測自動制御学会関西支部

特別講演会ならびに第60回支部会議次第

- I 開催日 令和7年(2025年)1月15日(水)
- II 場所 大阪大学中之島センター
(〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-5 3)
- III 特別講演会 16:30~17:30
「研究開発戦略について」
野田 哲男 氏
(大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 教授)
- IV 支部会議 17:35~18:05
1. 令和6年度事業報告
 2. 主要な活動状況と新しい試みの報告
 3. 令和7年度事業計画
 4. 令和7年度支部運営委員の紹介
 5. 新支部長挨拶

資料目次

資料目次	2
第60回 計測自動制御学会関西支部支部会議資料	3
令和6年度 事業報告	3
主要な活動状況と新しい試みの報告	8
令和7年度 事業計画	10
令和6年度 収支決算書	11
令和7年度 収支予算書	12
令和7年度 運営委員名簿	13
【参考1】 関西支部支部長賞規程改正箇所抜粋	14
【参考2】 関西支部研究会設置および運営規程改正箇所抜粋	15
特別講演会資料	17

第60回計測自動制御学会関西支部支部会議資料

令和6年度事業報告

項目	内容
I 事業	<p>1. 特別講演会 2024年1月12日（金）大阪工業大学梅田キャンパス 「仮想実社会データ（＝合成人口データ＋基本行動データ）によるリアルスケール社会シミュレーション」 村田 忠彦 氏（大阪大学 サイバーメディアセンター・大学院情報科学研究科 教授）</p> <p>2. 見学会 2024年11月15日(金) 「古都で育まれる未来のゆたかさ」 【見学先】ソニーコンピュータサイエンス研究所 - 京都 https://www.sonycsi.co.jp/kyoto/ 〒600-8086京都府京都市下京区本燈籠町13-1 参加者 26名（企業5名、教員3名、学生18名）</p> <p>3. 講習会 「運転支援知能システムを支える制御工学と機械学習 ～モデル予測制御から深層学習まで～」 講師：瀧 迅 氏（大阪大学）、橋本 和宗 氏（大阪大学） 2024年8月5日（月） 10:00～16:05 大阪大学 銀杏会館（大阪府吹田市山田丘2-2） ／オンライン（Zoom） 参加者：91名（内訳：正会員 43名、学生41名、非会員 8名）</p>

4. シンポジウム

2023年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム

2024年 1月 12日（金）

一般講演数 72件

5. 支部長賞

特別賞1件、技術賞1件、奨励賞6件の合計8件自薦他薦から、奨励賞4件を受賞対象とした。

公募: 2024年 11月 1日（金）～ 30日（土）

選考: 2024年 12月 17日（火）

奨励賞: 杉山 大輝（京都大学）

「価値駆動型マルチエージェントシステムの合意制御」

奨励賞: Lin Kangyu（京都大学）

「A non-interior-point continuation method for optimal control problems with equilibrium constraints」

奨励賞: 楠原 里奈（大阪大学）

「Task-Oriented Design Method for Monolithic Flexible Hands with Wire Drive Systems」

奨励賞: 荻尾 優吾（大阪大学）

「モデル探索アプローチに基づく動的量子化器の設計」

6. 協賛事業

- 精密工学会関西支部「生産技術特別セミナー」

2024年 6月 27日(木), 7月10日(木), 18日(木), 23日(火), 29日(月)
大阪公立大学 文化交流センター ホール

- 日本材料学会関西支部第19回若手シンポジウム

2024年 12月 4日(月) 同志社大学 大阪サテライトキャンパス

II 会議

1. 支部会議

2024年 1月 12日 (金)

大阪工業大学 梅田キャンパス

2. 支部運営委員会

- 2024年 4月16日(火) 10:00-12:00 (オンライン)
- 2024年 6月5日(水) 13:30-15:30 (オンライン)
- 2024年 8月5日(月) 16:30-18:30 (オンライン)
- 2024年 10月9日(水) 15:00-17:00 (大阪大学 中之島センター)
- 2024年 12月18日(水) 15:00-17:00 (オンライン)

3. 委員会開催(運営委員会外)

- 新旧4役ミーティング オンライン会議1回
- シンポジウム委員会 オンライン会議3回
- 見学会委員会: オンライン会議1回
- 支部長賞選考委員会 オンライン会議1回

III 会員状況

2024年 12月 31日 (日) 現在, 関西支部所管内

正会員 590名	(2023年末は598名)
准会員 7名	(同4名)
学生会員 63名	(同56名)
名誉会員 9名	(同9名)
永年会員 16名	(同15名)
賛助会員 29社	(同28社)

IV 運営委員

支部長	藤崎泰正 (大阪大学)
副支部長	三輪祥太郎 (三菱電機)
庶務幹事	和田孝之 (大阪大学)
庶務幹事	大坪舜 (三菱電機)
庶務幹事	寒川哲夫 (摂南大学)
会計幹事	星野健太 (京都大学)
会計幹事	星島耕太 (ダイヘン)

シンポジウム委員会

委員長	中本裕之（神戸大学）
副委員長	杉川智（大阪工業大学）
庶務	庵智幸（大阪大学）
庶務	永瀬純也（龍谷大学）
庶務	楠木祥文（大阪公立大学）
会計	前場友秀（川崎重工業）
会計	滝下峰史（神戸製鋼所）

見学会委員会

委員長	石塚裕己（大阪大学）
副委員長	八瀬快人（大阪大学）
庶務	瀬和居裕志（島津システムソリューションズ）
庶務	山口雄紀（オムロン）
庶務	佐藤清一（アズビル）
会計	北尾太市（村田機械）
会計	大橋乃輔（三菱電機）

支部長賞選考委員会

委員長	藤崎泰正（大阪大学）
委員	三輪祥太郎（三菱電機）
委員	和田孝之（大阪大学）
委員	大坪舜（三菱電機）
委員	寒川哲夫（摂南大学）
委員	星野健太（京都大学）
委員	星嶋耕太（ダイヘン）
委員	中本裕之（神戸大学）
委員	石塚裕己（大阪大学）
委員	前場友秀（川崎重工業）
委員	瀬和居裕志（島津システムソリューションズ）
委員	山口雄紀（オムロン）
委員	北尾太市（村田機械）

	委員
--	----

	大橋乃輔（三菱電機）
--	------------

主要な活動状況と新しい試みの報告

令和6年度(西暦2024年度)のSICE関西支部は、昨年に引き続き、見学会・講習会・シンポジウムの対面開催を維持しつつ、支部活動活性化へ向けた下準備を行いました。

まず、見学会については、今年度はソニーコンピュータサイエンス研究所 - 京都にて「古都で育まれる未来のゆたかさ」をテーマに対面開催しました。

講習会（システム制御情報学会との共催）について本年度は「運転支援知能システムを支える制御工学と機械学習 ～モデル予測制御から深層学習まで～」と題し、昨年度と同様ハイブリッド形式で実施しました。

本日開催の「計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム」では、52件の発表が行われました。本年度も対面による交流の場「ミキサー」を開催する予定であり、企業・大学・高専研究者や学生の研究交流に寄与することを企図しております。

また、支部運営委員の交流を図るため、支部運営委員会も年に一度対面で開催しております。今年はその機会を捉え、支部運営委員会内で現在支部が抱える業務効率化や支部活動活性化について議論しました。その結果、今年度の新たな取り組みが以下のように生まれました。

当支部では研究会を設置し、先進的な調査・研究へのサポートをする体制がありますが、この10年程度、このシステムは活用されていませんでした。支部運営委員会内での議論を経て、現在の当支部の実情にあわせ、より柔軟に研究会活動をサポートできるようSICE関西支部研究会設置および運営規程の改正を行いました。別項に記載のとおり、改正により研究会の設置時期を柔軟に決められるようになりました。

また、支部長賞の選考委員会におけるコメントをもとに支部長賞規程を改正しております。具体的には募集分野を、当学会が対象とするすべての研究であることがより明確に伝わるよう、SICE関連分野と文言を修正しました。

このように、今年度は昨年度から本格化した対面での活動を維持しつつ、次への飛躍をにらみ、規程改正を行いました。加えて領収書の印影のデジタル化など、DX化をさらに進めま

した。支部予算の執行・会計においては、研究会活動をサポートできるよう予算を確保しつつ、支出総額は増加しないよう従来部分についてはスリム化を図った計画になっております。

関西支部所属の会員数につきましては、正会員が減少した一方、準会員、学生会員の増加が見られ、全体としては若干増加しました。

令和7年度事業計画

項目	内容		
II 事業	特別講演会（1月）	1回	（令和6年度実績1回）
	シンポジウム（1月）	1回	（同1回）
	講習会（6月）	1回	（同1回）
	見学会（10月）	1回	（同1回）
	支部長賞（12月）	1回	（同1回）
	研究会	随時	（同0件）
	協賛事業	随時	（同2件）
	連携事業	随時	（同0件）
	支部会議	1回	（同1回）
	支部運営委員会	5回	（同5回）
	2025年4月		
	2025年6月		
	2025年8月		
	2025年10月		
	2025年12月		
	委員会開催 講習会委員会	随時	（同2回）
	シンポジウム委員会	随時	（同4回）
	見学会委員会	随時	（同1回（メールベース））
	支部長賞選考委員会（12月）	1回	（同1回）

令和6年度 収支決算書

(単位:円)

収入		支出	
交付金収入(学会より)			
特定資産利息収入	0		
事業収入	1,239,000	事業費	988,967
学術講演会収入	0	学術講演会費支出	0
部門大会収入	0	部門大会費支出	0
講演会収入	0	講演会費支出	0
講習会収入	0	講習会費支出	0
シンポジウム収入	689,000	シンポジウム費支出	876,100
研究会収入	0	研究会費支出	0
見学会収入	0	見学会費支出	2,867
国際交流活動収入	0	国際交流活動費支出	0
調査・資料収集活動収入	0	調査事業費支出	0
資格認定活動収入	0	資格付与事業費支出	0
体験活動収入	0	体験事業費支出	0
表彰活動収入	0	表彰費支出	60,000
部門交流活動収入	0	部門交流活動費支出	0
広報活動収入	0	広報活動費支出	0
記念事業収入	0	記念事業費支出	0
運営委員会事業収入	0	分配金支出	0
分担金収入	0	共催事業分担金支出	50,000
補助金・助成金収入	550,000		
		管理費	225,687
雑収入	372	運営委員会費支出	225,687
受取利息	372	給料手当	0
雑収入	0	臨時雇用費	0
		退職給付費用	0
		旅費交通費	2,240
		通信運搬費	2,190
		建物減価償却費	0
		備品減価償却費	0
		消耗品費	396
		事務所費	0
		賃借料	0
		印刷製本費	0
		保険料	0
		諸謝金	0
		OA関係諸雑費	0
		租税公課	0
		分配金	0
		支払負担金	0
		支払手数料	3,190
		委託費	0
		会場費	18,900
		原稿料	0
		技術交流会会費	0
		表彰関係費	0
		広告宣伝費	0
		雑費	0
		直轄・部門支部間繰出	198,771
		固定資産取得支出	0
		什器備品購入支出	0
		消費税相当額	0
収入合計(D)	1,239,372	支出合計(I)	1,214,654
		(収支差額(D)-(I))	24,718
繰入金収入(E)	0	他会計への繰出額(J)	24,718
特別繰入金収入	0		
国際会議	0	未収金回収不能額(L)	0
会議翻訳	0	事業未収金回収不能額支出	0
共催事業	0	繰入金未収金回収不能額支出	0
特別交付金	0		
未収金補填収入	0		
寄附金収入(F)	0		
当期収入合計(A)=SUM(D,F)	1,239,372	当期支出合計(C)=SUM(I,L)	1,239,372
前期繰越収支差額	0	当期収支差額(A)-(C)	0
収入合計(B)	1,239,372	次期繰越収支差額(B)-(C)	0

令和7年度収支予算書

収入		支出	
交付金収入(学会より)	0		
特定資産利息収入	0		
事業収入	985,000	事業費	1,141,000
学術講演会収入	0	学術講演会費支出	0
部門大会収入	0	部門大会費支出	0
講演会収入	0	講演会費支出	0
講習会収入	0	講習会費支出	0
シンポジウム収入	575,000	シンポジウム費支出	811,000
研究会収入	0	研究会費支出	100,000
見学会収入	60,000	見学会費支出	180,000
国際交流活動収入	0	国際交流活動費支出	0
調査・資料収集活動収入	0	調査事業費支出	0
資格認定活動収入	0	資格付与事業費支出	0
体験活動収入	0	体験事業費支出	0
表彰活動収入	0	表彰費支出	0
部門交流活動収入	0	部門交流活動費支出	0
広報活動収入	0	広報活動費支出	0
記念事業収入	0	記念事業費支出	0
運営委員会事業収入	0	分配金支出	0
分担金収入	50,000	共催事業分担金支出	50,000
補助金・助成金収入	300,000		
		管理費	246,000
		運営委員会費支出	246,000
雑収入	4,000	給料手当	0
受取利息	3,000	臨時雇用費	30,000
雑収入	1,000	退職給付費用	0
		旅費交通費	30,000
		通信運搬費	10,000
		建物減価償却費	0
		備品減価償却費	0
		消耗品費	10,000
		事務所費	0
		賃借料	0
		印刷製本費	0
		保険料	0
		諸謝金	0
		OA関係諸雑費	0
		租税公課	0
		分配金	0
		支払負担金	0
		委託費	0
		会場費	60,000
		原稿料	0
		技術交流会会費	0
		表彰関係費	100,000
		広告宣伝費	0
		雑費	6,000
		固定資産取得支出	0
		什器備品購入支出	0
		消費税相当額	0
収入合計(D)	989,000	支出合計(I)	1,387,000
		(収支差額(D)-(I))	-398,000
繰入金収入(E)	0	一般会計繰入金支出(J)	0
特別繰入金収入	0		
国際会議	0	未収金回収不能額(L)	0
会議翻訳	0	事業未収金回収不能額支出	0
共催事業	0	繰入金未収金回収不能額支出	0
特別交付金	0		
未収金補填収入	0		
寄附金収入(F)	0		
当期収入合計(A)=SUM(D:F)	989,000	当期支出合計(C)=SUM(I:L)	1,387,000
前期繰越収支差額	0	当期収支差額(A)-(C)	-398,000
収入合計(B)	989,000	次期繰越収支差額(B)-(C)	-398,000

令和7年度運営委員名簿

役職	氏名
支部長	三輪祥太郎（三菱電機）
副支部長	鷹羽浄嗣（立命館大学）
庶務幹事	大坪舜（三菱電機） 難波巧（立命館大学） 坂野幾海（京都大学）
会計幹事	星島耕太（ダイヘン） 橋本和宗（大阪大学）
運営委員	池田昌弘（近畿大学） 礪川悌次郎（兵庫県立大学） 大橋乃輔（三菱電機） 北口久将（川崎重工業） 楠木祥文（大阪公立大学） 小河原徹（オムロン） 佐藤清一（アズビル） 白藤翔平（関西大学） 杉川智（大阪工業大学） 瀬和居裕志（島津システムソリューションズ） 滝下峰史（神戸製鋼所） 深川陽平（村田機械） 星野光（兵庫県立大学） 八瀬快人（近畿大学）

【参考 1】 関西支部支部長賞規程改正箇所抜粋

※旧規則から削除した箇所には取り消し線、追加した箇所には下線を付記しています。

1. 計測自動制御学会関西支部支部長賞の設置

計測自動制御学会(SICE)関西支部(以下、本支部という)では、計測自動制御SICE関連分野において関西地区で活躍する研究者・技術者を奨励することを目的として、本支部支部長賞(以下、支部長賞)を設ける。

支部長賞の表彰を本支部の事業として運営し、支部長賞選考委員会を設置し、選考および表彰を行う。支部長賞は計測自動制御学会本部での表彰とは独立しているものであり、本部での表彰との重複を妨げないものとする。

支部長賞は計測自動制御SICE関連分野の学術・技術・運営に関する業績を対象とする賞であり、その内容により、次の3賞を置く。

- **奨励賞**

計測自動制御SICEに関連した独創性と発展性に富む研究・開発に取り組む若い研究者個人もしくは若い技術者個人に授与する。

- **技術賞**

計測自動制御SICEに関連した技術の発展や普及に寄与した研究者個人、技術者個人、もしくは研究・開発グループに授与する。

- **特別賞**

計測や自動制御のSICE関連分野および学会活動等への大きな貢献をした個人もしくはグループに授与する。

【参考2】 関西支部研究会設置および運営規程改正箇所抜粋

※旧規則から削除した箇所には取り消し線、追加した箇所には下線を付記しています。

2. 研究会の設置

研究会の設置申請はいつでも可能であり、申請があり次第~~2ヶ月に一回程度開かれる幹事会~~支部運営委員会で設置申請書に基づき審議される。設置期間は申請書に基づき決定され、2年を超えることはできない。~~設置が認められた研究会の開始時期は4月1日からと10月1日からの年2回とする。原則として、上記日付のうち、認められた日以降で最初に来る日を開始時期とするが、事情により開始時期をさかのぼることも可能とする。期間は4月1日開始の場合は1年または2年。10月1日開始の場合は1年2ヶ月または2年2ヶ月とする。期間の延長が必要な場合には申請に基づき支部幹事会の審議により継続の可否を決定する。~~

4. 研究会の運営

当該研究会の主査・幹事・会員の総意に基づき、自由闊達な研究活動が実施できるよう運営されなければならない。各研究会の運営費として、支部より~~各年毎に1年間の活動に対して~~最大10万円を支給する。~~但し、期間を延長した場合には、支部幹事会の審議により減額することがある。~~各研究会は5.の活動報告に加えて、支部シンポジウムなどの諸企画を通じて当該研究分野に関する~~調査・~~研究の成果報告を年度毎に行うことが望ましい。

5. 研究会の活動報告

当該研究会の主査は、設置期間満了時に各年の活動状況（会合等の日時、参加者等を記した簡単なもの）をまとめたものを最終報告書として~~支部幹事会~~支部運営委員会に提出しなければならない。また~~設置期間が2年の場合は、1年目終了時に各年12月中に~~当該年度の年次活動報告書（同様に会合等の日時、参加者等を記した簡単なもの）を~~支部幹事会~~支部運営委員会に提出しなければならない。~~提出された最終活動報告書に基づき、2月の支部定時総会で各研究会の活動内容が報告される。またさらに~~各年12月中に別紙に定めるところにより会計幹事に対して会計報告を行うこと。

~~―活動報告及び会計報告提出の形態は研究会開始時期により以下のように異なる。―~~

~~→4月1日開始の研究会は、その年の1-2月末で会計締めを行う。2年続ける場合も同様。ただし研究会の期間満了時の最終報告は3月末なので、総会への報告は次年へ繰越しとな~~

~~る。~~

~~→10月1日開始の研究会は、運営費をすぐさま支給するが、会計報告は翌年の12月末
(14ヶ月後)とする。2年続ける場合は、1月1日から継続開始とし、12月末に会計報
告して終了。最終報告も12月末に提出し、翌年2月の総会で報告。~~

特別講演会資料

講師

野田 哲男 氏（大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 教授）

講演題目

研究開発戦略について

講演概要

例年、この時間帯の講演は講師自身の研究開発に関する内容で行われることが通例である。どうしたら自分もあんな研究ができるようになるんだろうと憧れる。そこで今年はずこしメタな視点から、こんな攻め方はどうでしょうという論文執筆を基軸とする研究開発戦略について話題提供する。論文は成果が出てから書き始めるのでは実は遅く書きながら研究をするものであること、被引用や論文賞というインセンティブもあること、どう書けばそれらの効果が得られるか、などについて共有したい。そしてこれらをネタに研究開発という獣道の険しさと、それでもそこを志してしまうおもしろさについて参加者のみなさまと議論してみたい。

ご略歴

1985年 大阪大学基礎工学部 機械工学科 卒業

1987年 大阪大学大学院基礎工学研究科機械工学専攻 博士前期課程 修了

1987年 三菱電機株式会社 入社 先端技術総合研究所など

2016年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報科学専攻博士後期課程
修了,博士(工学)

2017年 大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科
教授(現在に至る)